

科目名	国語総合		
講座名	国語総合		
履修年次	1年次	文理別	全
単位数	5単位	履修区分	1年全員
<p><履修条件> (必履修科目が履修条件になっている場合は省略)</p>			
<p><講座内容></p> <p>1 評論…筆者の主張を的確に読み取り、物事に対する多面的な視点を育成するとともに、評論の基本的な読解方法を習得する。</p> <p>2 小説…場面や人物の心情の変化を巧みな表現に即して読み味わい、小説の基本的な読解方法を習得する。</p> <p>3 古文…古典文法における、基本的な知識を理解する。また、正しい解釈の仕方を学び、登場人物の行動と心情を的確に読み取る。</p> <p>4 漢文…基本的な句法を理解し、古代中国人のものの見方や考え方を知るとともに、人物の行動や心情を考える。</p> <p>全体として…「読む・書く・話す・聞く」の言語活動を通して、的確な読解、表現ができるようにし、伝え合う力を高める。また、言語感覚を磨き、言語文化に関する関心を高める。</p>			
<p><履修上の注意></p>			

科目名	現代社会		
講座名	現代社会		
履修年次	1年次	文理別	全
単位数	2単位	履修区分	1年全員
<p><履修条件> (必履修科目が履修条件になっている場合は省略)</p>			
<p><講座内容></p> <p>1. 現代社会について、倫理、社会、文化、政治、法、経済、国際社会など多様な角度から理解します。</p> <p>2. 現代社会と自己とのかかわりに着目し、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について考察します。</p> <p>3. 学習方法や課題の探究方法などを身に付け、主体的に学習に取り組むことを目指します。</p>			
<p><履修上の注意></p>			

科目名	数学 I		
講座名	数学 I		
履修年次	1年次	文理別	全
単位数	2単位	履修区分	1年全員
<p><履修条件> (必履修科目が履修条件になっている場合は省略)</p>			
<p><講座内容></p> <p>「第1章 数と式」では、方程式、不等式について学習する。</p> <p>「第2章 2次関数」では、グラフ、方程式、不等式、最大・最小について学習する。</p> <p>「第3章 図形と計量」では、三角比、正弦定理、余弦定理について学習する。</p> <p>「第4章 集合と命題」では、集合、命題、逆・裏・対偶について学習する。</p> <p>「第5章 データの分析」では、データの整理、分析、相関について学習する。</p>			

<履修上の注意>

1クラスを2つに分割する。

科目名	数学Ⅱ		
講座名	数学Ⅱ		
履修年次	1年次	文理別	全
単位数	1単位	履修区分	1年全員
<p><履修条件> (必履修科目が履修条件になっている場合は省略)</p> <p>「数学Ⅰ」履修後に履修・1,2年継続履修</p>			
<p><講座内容></p> <p>「第1章 いろいろな式」では、整式の乗法・除法と分数式、証明、高次方程式について学習する。</p> <p>「第2章 図形と方程式」では、点・直線・円、軌跡と領域について学習する。</p> <p>「第3章 三角関数」では、一般角の三角関数、三角関数の加法定理について学習する。</p> <p>「第4章 指数関数と対数関数」では、指数、対数とそれらの関数について学習する。</p>			
<p><履修上の注意></p> <p>1クラスを2つに分割する。</p>			

科目名	数学A		
講座名	数学A		
履修年次	1年次	文理別	全
単位数	3単位	履修区分	1年全員
<p><履修条件> (必履修科目が履修条件になっている場合は省略)</p>			
<p><講座内容></p> <p>「第1章 場合の数と確率」では、順列・組合せと確率の性質について学習する。</p> <p>「第2章 整数の性質」では、約数と倍数、互除法と不定方程式について学習する。</p> <p>「第3章 図形の性質」では、三角形・円、作図、空間図形について学習する。</p>			
<p><履修上の注意></p>			

科目名	物理基礎		
講座名	物理基礎		
履修年次	1年次	文理別	全
単位数	2単位	履修区分	1年全員
<p><履修条件> (必履修科目が履修条件になっている場合は省略)</p>			
<p><講座内容></p> <p>1. 力学…①物体の運動 ②運動方程式 ③仕事とエネルギー</p> <p>2. 熱…①熱と温度 ②仕事と熱</p> <p>3. 波…①波の性質 ②音</p> <p>4. 電気…①静電気と電流 ②磁場と電流</p> <p>5. 物理と生活…エネルギーとその利用</p>			
<p><履修上の注意></p>			

2年以降物理選択をするものは、原理解を重視しながら学習すること

科目名	音楽 I		
講座名	音楽 I		
履修年次	1年次	文理別	全
単位数	2単位	履修区分	1年全員
<履修条件> (必履修科目が履修条件になっている場合は省略) 選択必履修			
<講座内容> ・歌唱…様々な表現形態による歌唱の特徴を生かし、表現を工夫して歌う能力を身につける。 ・器楽…様々な表現形態による器楽の特徴を生かし、表現を工夫して演奏する能力を身につける。 ・創作…音素材の特徴を生かし、イメージをもって音楽をつくったり、変奏や編曲をしたりする。 ・鑑賞…楽曲の文化的・歴史的背景や、作曲家及び演奏者による表現の特徴を理解して鑑賞する。			
<履修上の注意>			

科目名	美術 I		
講座名	美術 I		
履修年次	1年次	文理別	全
単位数	2単位	履修区分	1年全員
<履修条件> (必履修科目が履修条件になっている場合は省略) 選択必履修			
<講座内容> 1. 構成と構図…形を自由に構成し、偶然性を楽しみながら構図を考え、創造的に表現する。 2. 人物表現…人体の構造を理解し、人のしぐさや表情を読み取り、創意工夫しながら制作する。 3. 立体表現…自由な発想でアイデアを出し、形や色彩で表現する。 4. 鑑賞…作品のよさや美しさを感じ取り、生活や社会を心豊かにする美術の働きについて理解を深める。			
<履修上の注意> 必要に応じて教材の購入が必要。			

科目名	書道 I		
講座名	書道 I		
履修年次	1年次	文理別	全
単位数	2単位	履修区分	1年全員
<履修条件> (必履修科目が履修条件になっている場合は省略) 選択必履修			
<講座内容> ・「書へのいざない」では、書写と書道の共通点と相違点を理解する。 ・「漢字の書の世界」では、さまざまな古典を臨書し、創作へと結びつける。 ・「漢字仮名交じりの書の世界」では、漢字と仮名の調和した表現について学び、創作する。 ・「仮名の書の世界」では、仮名の書の特徴を古筆から学び、散らし書きをする。 ・「篆刻」では、自分の名前の印を刻む。			
<履修上の注意>			

書道用具の準備や指定教材を購入する必要がある。

科目名	コミュニケーション英語 I		
講座名	コミュニケーション英語 I		
履修年次	1年次	文理別	全
単位数	4単位	履修区分	1年全員
<p><履修条件> (必履修科目が履修条件になっている場合は省略)</p>			
<p><講座内容></p> <p>英語で書かれた情報や考えなどを的確に理解するための基礎的な能力を養い、英語を使ってコミュニケーションを取ることができることを目標とする。英語で話されていることを聞いたり、英語で書かれたものを読んだりして得た内容をもとに、英語で話したり書いたりする言語活動を行いながら、英語を学ぶ。</p>			
<p><履修上の注意></p>			

科目名	英語表現 I		
講座名	英語表現 I		
履修年次	1年次	文理別	全
単位数	2単位	履修区分	1年全員
<p><履修条件> (必履修科目が履修条件になっている場合は省略)</p>			
<p><講座内容></p> <p>英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら自分の考えを的確に伝える能力を養う。</p>			
<p><履修上の注意></p>			

科目名	家庭基礎		
講座名	家庭基礎		
履修年次	1年次	文理別	全
単位数	2単位	履修区分	1年全員
<p><履修条件> (必履修科目が履修条件になっている場合は省略)</p>			
<p><講座内容></p> <p>1 「人の一生と家族・家庭及び福祉」の中では、青年期の自立と家族・家庭、子どもの発達と保育、高齢期の生活及び共生社会と福祉といった内容を学ぶ。</p> <p>2 「生活の自立及び消費と環境」の中では、食事と健康、被服管理と着装、住居と住環境、消費生活と生涯を見通した経済の計画、ライフスタイルと環境及び生涯の生活設計といった内容を学ぶ。</p>			

<履修上の注意>

科目名	社会と情報		
講座名	社会と情報		
履修年次	1年次	文理別	全
単位数	2単位	履修区分	1年全員
<履修条件> (必修科目が履修条件になっている場合は省略)			
<p><講座内容></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 問題を解決する様々な方法を学び、目的に応じて適切な解決の手順と方法を知る。 2. インターネットをはじめ、様々な手段を適切に活用し、問題解決に必要な情報を収集する方法を身につける。 3. 多様な情報を、コンピュータを使って効果的にまとめる方法を習得する。 4. 発表や討論を通して、プレゼンテーション能力や判断力を高める。 5. 情報の収集・発信にともなって発生する問題と、個人の責任について理解する。 			
<履修上の注意>			